

コナラ



学名 *Quercus serrata*

科名 ブナ科（落葉広葉樹）

分布 北海道～九州

材質特性^{*1} 気乾密度：0.86g/cm³ 容積密度：0.65g/cm³ 繊維長：1.4mm 生材含水率：心材80%、辺材80%

物理特性^{*2} 静的曲げヤング係数：13.8kN/mm² 静的曲げ強さ：119N/mm² 衝撃曲げ吸収エネルギー：12.4J/cm³

加工特性^{*3} 鋸断性^{*4}：C プレーナー加工性^{*5}：B ルーター加工性：切削抵抗^{*4}C 表面粗さ^{*6}C

乾燥特性^{*3,*7} 乾燥のしやすさ：D（乾燥速度：D 表面割れ：B 内部割れ：C 落ち込み：D）

樹高 10～20m **直径** 50～60cm程度 **組織構造** 環孔材

材色 心材は淡灰褐色、辺材は淡黄褐色。心材辺材の区別は不明瞭。

利用 かつては薪炭材やキノコ栽培のほだ木として利用されていたが、近年その利用は大幅に縮小している。同属のミズナラに比べて、材は重く硬いとされているが、原木市場において両者は区別せずナラとして販売されており、直材で径が大きいコナラはミズナラと同等に建築材、造作材、器具材や家具材、樽材など様々な用途に使われている。径の細い材の有効活用が望まれる。

ホオノキ



学名 *Magnolia obovata*

科名 モクレン科（落葉広葉樹）

分布 北海道～九州

材質特性^{*1} 気乾密度：0.47g/cm³ 容積密度：0.38g/cm³ 繊維長：1.5mm 生材含水率：心材123%、辺材105%

物理特性^{*2} 静的曲げヤング係数：7.6kN/mm² 静的曲げ強さ：67N/mm² 衝撃曲げ吸収エネルギー：4.9J/cm³

加工特性^{*3} 鋸断性^{*4}：B プレーナー加工性^{*5}：A ルーター加工性：切削抵抗^{*4}B 表面粗さ^{*6}B

乾燥特性^{*3,*7} 乾燥のしやすさ：A（乾燥速度：A 表面割れ：B 内部割れ：A 落ち込み：A）

樹高 20～30m **直径** 40～50cm程度 **組織構造** 散孔材

材色 心材は緑黄色で、国産材の中では珍しい。辺材は白っぽい。心材辺材の境が明瞭。

利用 材が軽軟で狂いが少なく、加工が容易であることから、彫刻材、漆器の木地、寄木細工、器具材などに使われるほか、刃当たりが柔らかいことから、刃物の鞘や柄、まな板に使われる。家具材としての利用は多くはなかったが、表面の色味の面白さや当たりの柔らかさから、近年積極的に利用しようという動きも見られる。